

ディボーション質問表



エズラ記は、帰還から神殿完成まで（1～6章）とエズラの活動（7～10章）に分けられます。

25日（月）エズラ記 6：13～22節 神殿完成

1. 神の宮が完成し、イスラエル人たちは宮の奉獻式を行いました。彼らの気持ちを想像してみましょう。
2. 奉獻式を行った翌月、彼らは過越しの祭りを行います。過越しの祭りは本来どのような祭りだったでしょうか？ その祭りをしている彼らの思いを想像してみましょう。

25日（火）ハガイ書 1章 第一のメッセージ

エズラ記5：1～2節で神の宮の再建の為に、ゼルバベルとヨシュアを助けた人物がハガイです。彼を通して神が語られたメッセージがハガイ書です。エズラ記の内容の背景を知る助けとして読んでみましょう。

1. 神の恵みが最も良く感じられる箇所はどこですか。
2. 人のおちいりやすい失敗は何だと思いませんか？ またあなた自身はどんな失敗に陥りやすいでしょうか？
3. ハガイは自分の使命をどのように自覚しているのでしょうか。あなたの使命は何だと思いませんか？

26日（水）ハガイ書 2章 第二（1～9節）第三（10～19節）第四（20～23節）のメッセージ

1. 主の励ましが記されています。あなたの心に最も響く言葉はどれでしょうか。またこれを通して主のどんな計画を見いだす事ができますか（1～9節）？
2. このような預言を聞いた民はどのように感じたのでしょうか。主はこの預言を通してあなたには何を示されましたか（10～23節）。また、20節以降の主の約束はあなたの生活にどのように適用出来るでしょうか？

25日（木）エズラ記 7章 エズラへの帰還命令

1. ここで初めて祭司、学者のエズラが登場します。アルタシャスタ王はエズラを派遣し、イスラエルの再建をさらに確固なものとしします。主がこのように王を動かす事があるとすれば、私たちは政治に対してどのような態度で接するのが望ましいと思いませんか。
2. ペルシャ王によって神殿礼拝者には免税措置が施されています。今日の宗教法人法の原型です。また裁判権も与えられ、地方自治が認められました。神の私たちへの配慮と共通している部分は何でしょうか？

26日（金）エズラ記 8章 エズラと共に帰還した人々

1. 2～14節の系図は誰のことですか（1節）？ 彼らは安定し住み慣れた場所に留まるより、自分たちのアイデンティティ、目的、ビジョンを達成するために旅に出る決断をしました。
→ 人間的判断、損得ではなく、信仰によって日々決断しているだろうか？
2. 24～34節に貴重品を運ぶシーンがあります。通常、軍隊が護衛につくのですが、彼らはどうしましたか（21～23節）？

27日（土）エズラ記 9章 雑婚に対する嘆きの祈り

1. 帰ってきた人々はどのような生活をしていましたか（1～2節）？ それに対して、エズラはどうしたのでしょうか（4～5節）？
→ 罪深い世に対して怒るのではなく、悲しんでいるだろうか。とりなしているだろうか。
2. エズラの祈りから学んでみましょう。彼は、共同体、先祖たちがしてきたことをとりなしますが、まるで自分が最も大きな罪を犯した人のように恥ずかしく思い、悲しみました。6～15節を読んで、とりなしの良きモデルの原則を見出してみましょう。

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**